

東京



東京編集部
〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2
☎ 03-3275-8747
FAX 03-3275-8975
shuto@
sankei.co.jp
広告 042-525-4138
購読申し込み
0120-81-2950
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
03-3275-8864
Web
http://sankei.jp.msn.
com/region/region.htm

「明石小は重文に相当」

建築学会、区教委に意見

関東大震災後に建築された「復興小学校」の一つで、老朽化のため建て替えが決まっている中央区明石町の区立明石小学校について、日本建築学会は「国指定重要文化財に相当する価値がある」との見解を区教育委員会に伝えた。学会の意見は建造物の所有者に及ぼす影響が強いとされ、8月に解体工事を始める区教委の判断が注目される。これに伴い、校舎の保存を求める区民らが21日、区に学会の判断を尊重するよう求める申し入れを行った。

区民ら、校舎保存求める署名

復興小学校は19校が現存。中央区には10校あり、明石小などについては卒業生や近隣住民らが署名活動を行うなどして保存運動を

建築の秀作として高い価値がある」などと校舎保存を求める要望書を区教委に提出したが、解体の期日が迫ったことなどから、さらに詳細な現地調査を実施したうえで9日付で再度、要望書を提出した。

今回の要望書では明石小について「意匠的な完成度は極めて高い。80年以上を経た今日まで現役の小学校として活用されてきたことは奇跡的であり、中央区や東京都にとってかけがえのない文化遺産」とし「国指定の重要文化財建造物としてその価値を後世に伝えていくべきだ」と強調している。

学会は1886（明治19）年に創立され、国内建築の調査や情報発信では最も権威を持つ団体。建築物の保存を求める要望書は過去10年で約50件提出しており、解体から一転、保存になったものも多いという。

区教委は明石小など3校については解体の予定に変更はないが、新校舎には意匠を取り入れることや階段の手すりなど可能な素材は再利用することなどを約束し、残りの4校は保存を検討する余地があるなどと回答したという。

21日には「中央区立明石小学校の保存を望む会」（中村敬子代表）メンバーが1370筆の署名を提出し、学会の判断を尊重するよう求めた。受け取った区教委事務局の遠藤誠副参事は「学校では引越作業も進んでおり、解体は近

隣の説明会を終え、理解を得ている」などと応じた。

中村代表は「重文相当という意見を受けての今日の対応に困惑している。重文というのは区民や国の財産なのに、壊してしまうことは考えられない」と話していた。

あすのこよみ

(23日)
旧6月12日
《大安》



月齢…… 11.3
日出…… 4:42
日入…… 18:53
月出…… 16:54
月入…… 1:43
満潮…… 1:38
満潮…… 16:42
干潮…… 9:15
干潮…… 21:33
中潮……(東京)

広告お申し込み

042-525-4138